

第2期多摩区区民会議報告書（概要版）

川崎市では、平成17年4月に「川崎市自治基本条例」が施行されました。この条例は「市民自治によるまちづくり」を進めることを目指しており、これに基づいて、地域の課題を市民自らが解決していく実践の場として区民会議が設置されています。

1年間の試行の区民会議を経て、平成18年より各区で第1期区民会議を行い、多摩区では平成20年8月から新しい体制のもとで第2期多摩区区民会議がスタートしました。第2期区民会議では、様々な地域課題の調査・審議を行い、提言を報告書としてまとめました。この冊子は、報告書の概要版となっております。

第2期区民会議の検討経過について

STEP1

全体テーマの設定について

第2期多摩区区民会議の活動について、その目的や方向性を示すとともに、区民に対して効果的に広報するために、スローガンとして全体テーマを設定しました。

全体テーマ

「見直そう、創りだそう！思いやりの多摩区」
～多摩区の未来をひらく区民会議～

STEP2

地域課題の把握と専門部会の設置について

調査・審議を行うテーマを決定するために、委員が日頃の活動等を通じて把握した課題や区民から提案があった課題、区役所が業務等を通じて把握した課題をまとめました。その結果、「高齢者関係、地域コミュニティ、こども関係」の調査・審議を行う「地域コミュニティ部会」、「環境と観光」について調査・審議を行う「環境・観光部会」、その各部会間の調整等を行う「企画部会」の計3つの専門部会を設置して、各分野ごとに専門部会で調査審議を行うこととしました。

課題の把握と審議イメージ

課題の把握

委員が日頃の活動等を通じて把握した課題

区役所が業務等を通じて把握した課題

課題の集約と分野分け

地域の課題として出された意見を分野ごとにまとめ、調査・審議を行う分野を決定

専門分野の設置

地域コミュニティ部会

高齢者関係、地域コミュニティ、
こども関係の分野について調査・審議



環境・観光部会

環境と観光の分野について調査・審議



企画部会

各部会間の調整、区民会議の広報

区民会議の開催

部会の調査・審議に対する意見交換や調整

STEP3

多摩区区民会議フォーラムの開催について

平成21年11月29日（日）に多摩区区民会議フォーラムを開催しました。これにより、区民会議の審議状況を区民に報告して意見交換を行うことにより、各審議テーマの提言案へ区民の意見を取り入れました。また地域課題について区民と共に考える機会としました。



取組・提言

取組1 コミュニティづくり P2

取組3 多摩区の道路整備 P4

取組5 藤子・F・不二雄ミュージアムへのアクセスロード整備 P6、7

取組2 子どもが育つ環境からみた世代間交流 P3

取組4 多摩区の地域特性に適した地域交通 P5

取組1 コミュニティづくり

(1) 町内会の役割

町内会は、従来から重要な役割を果たしてきました。特に、昨今は安全安心な地域社会を望む声が増えており、町内会の担ってきた防災、防犯機能への期待はとても大きなものがあります。また行政機関の一部補完についてあまり知られていませんが、大きな役割を担っており行政からも大変期待されているところです。

町内会の様々な役割

- 1 防災機能
 - 自主防災組織の確立
 - ・災害時の初期対応は町内会が自ら対応
 - ・要援護者の安否確認・避難支援
- 2 防犯機能
 - 防犯灯の新設・維持管理
 - ・定期的パトロール
 - 町内の見回り
 - ・年末の夜警
 - 登下校時の児童の見守り
 - ・年間を通じて老人会が実施
- 3 社会福祉(コミュニケーション)機能
 - 孤独死の予防
 - ・訪問見守り
 - ・近隣世帯との連携
 - ・日赤
 - ・社協との連携
- 4 親睦・環境整備機能
 - 運動会
 - 祭礼
 - 新年・忘年会
 - 不法投棄の監視
 - 盆踊り大会
 - 旅行会
 - 公園、河川等の清掃

行政機関等の一部補完

- 1 各種行政行為の補完
 - 公職選挙法の各種選挙事務従事者の選出
 - 民生・児童委員の選出
 - 統計調査(国勢調査員)の選出
 - 青少年指導員・体育指導委員の選出
 - 自主防災組織の編成
 - 消防団員の選出
 - 廃棄物減量指導員の選出
 - 違法広告物撤去員の選出
- 2 その他の団体への協力
 - 社会福祉協議会
 - 防犯協会
 - 防火協会
 - 交通安全対策協議会
 - 安全・安心まちづくり協議会
 - 区民祭実行委員会などへの会費負担
- 3 その他寄付金の依頼
 - 共同募金
 - 歳末助け合い募金
 - 日赤募金
 - その他突発的義援金(大震災等)の募金

(2) 町内会の抱える課題

■役員の高齢化

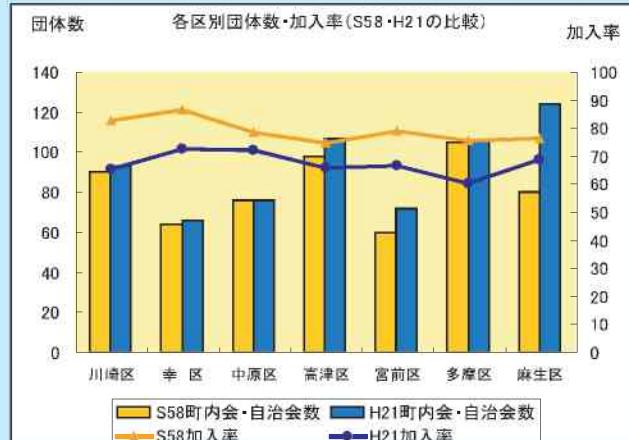
- ・役員の高齢化により後継者の問題が深刻になってきています。役員の後継者不足により、従来担ってきた機能が行えなくなる恐れがあります。

■加入率の低下

- ・町内会の活力を削ぐ大きな原因であり、ゴミ箱の設置や防犯灯など町内会で行っていることを考えると、受益者負担の面からも大きな問題です。

■取組への参加者が減少

- ・町内会の行事への参加者が少ないということも、近年の傾向です。



(3) 提言

提言1. 加入促進への取組み

町内会への加入率は年々低減傾向にあり、地域自治機能の低下が懸念されています。区民及び関連組織、行政もそれぞれの立場で更なる対策を講ずることが重要です。

提言2. 加入促進に向けた研究と対策が必要

次の2点を重点項目とします。

第1. 町内会の適正規模に向けた調査、研究の取組み。

- ・町内会が活動する上で、機能的な町内会の規模について
- ・統廃合または小規模町内会の連携について

第2. 町内会等の加入促進の為の支援施策について、調査、研究の取組み。

- ・他都市の条例について
- ・条例化について



取組2 子どもが育つ環境からみた世代間交流

(1) 現状と課題

「川崎市次世代育成支援に関するニーズ調査報告書」の結果を踏まえ、子育て世代が抱える課題について様々な意見があげられました。

- 子どもを生み育てることに対して社会の評価が十分でない
- こどもがのびのび育つ社会環境でない
- 子育て中の相談相手として、近所の人に相談できない
- 持ちたい子どもの数と現実にギャップがある
- 安心して子どもを遊ばせる場所がない
- 犯罪から守る対策や交通安全が重要視されている

現状を踏まえ、次のようなことが必要と考えました。

- 世代間でお互いの立場を理解し合える機会づくり
- いろいろな人が集まる場としての魅力的な公園
- こども文化センター、老人いこいの家の交流の推進
- 世代間交流を積極的に進めるために、広くアピールする

(2) 提言

提言1. 公園を中心とした地域づくり

地域に公園が整備されているだけでは、地域コミュニティが活発になるとは言えません。地域にとって、いろいろな人が集まる魅力的な公園づくりが必要です。



魅力的な公園をつくるためには

- 管理運営協議会の活性化の支援
- 公園の活用例の紹介
- 区内の身近な公園活用実態調査の実施
- 公園を中心とした地域づくりの紹介

提言2. 小学校、こども文化センター、老人いこいの家の連携

世代間交流を進めるために、小学校、こども文化センター、老人いこいの家の連携が必要だと考えます。



連携方法

- 地域の見守りパトロールの実施
- 外遊びを展開するために連携して話し合える環境づくり
- 老人いこいの家、こども文化センターが地域コミュニティの拠点となるように、地域交流の仕掛け作り、コーディネーター機能を持たせる

提言3. 街中で世代間交流機会とアピールを行う

- 各地区で歩行者天国を

年に数回、区役所周辺や各地区で歩行者天国を検討し、世代間交流ができる広場として広くアピールする。環境を見直す機会を設けることが必要であると考えます。

提言4. 子どもが育つ環境づくりとして世代間交流を推進し、アピールを

「**育て！ たましくま**！」

多摩区区民会議は世代間交流を推進し、
子どもがたくましく育つことを応援します。

取組3 多摩区の道路整備

(1) 現状と課題

多摩区内の道路について、次のような現状が挙げられます。

■歩道がない道路

- ・車の交通量が多いが、歩道がなく歩行者が危険にさらされている道路がある。（写真上段）



■車道が狭い道路

- ・対面通行を行う時には、スピードを落とし通行しなくてはならないところがみられる。（写真中段）



■傾斜のある道路

- ・多摩区は、起伏の激しい地形のところが多く、交通手段の確保が課題となっている。

■渋滞しやすい道路

- ・朝夕ピーク時限らず、慢性的に渋滞しやすい道路がある。

■狭い道に多数の歩行者が行きかう道路

- ・多摩区内には、複数の大学があり、通学を行う朝夕のピークの時間帯には道路一杯に歩行者が行きかう。



■波乗り状の歩道

- ・歩道に車の乗り入れのための傾斜があり、車イスやベビーカーを使用する際に転倒の危険がある。（写真下段）

以上のことから、多摩区の地域特性に適した道路整備の検討が必要です。交通弱者の視点にたって、多摩区内の歩道や車道の現状を把握することが必要です。

(2) 提言

提言1. 稲生橋交差点の渋滞解消

緊急性・必要性が高い事業として「稲生橋交差点の渋滞解消」について取り上げるべきだと考えます。



- いま現在において、日常的な渋滞がある。
- 渋滞がひどく、隣接するショッピングセンターへ来た車が、買い物帰りに車を出しづらい。
- 生田緑地の総合的な整備も計画され、整備が完了するとさらに人も車も増える。

⇒今後さらに渋滞が増える可能性があり、至急対応が必要

提言2. 生田緑地までの自転車が安心して通行できるゾーン整備

これから生田緑地の整備が始まり、交通量が増加することが見込まれます。歩行者・自転車・自動車などが、安全で安心して通行できる道路となるよう、モデル的に稲生橋から生田緑地までの車道に「自転車が安心して通行できるゾーン」の設置を提言します。

- 稲生橋から生田緑地については、一般の道路・歩道と同じように、自転車と歩行者が交互通行している。
- 歩行者・自転車・自動車が安全で安心して通行できるように、自転車が通行できるゾーンを車道に設置する。

【イメージ】



提言3. 地域の道路について住民が主体となり行政と協働して取り組む

住民の取組としては、自分たちの住んでいる地域の道路について、地域のコミュニティ（町内会・自治会・障害者関係、乳幼児関係など）が危険な箇所や、交通規制の必要性などについて話し合いを行い、主体的となり行政と協働して取り組むことが重要となります。

取組4 多摩区の地域特性に適した地域交通

(1) 現状と課題

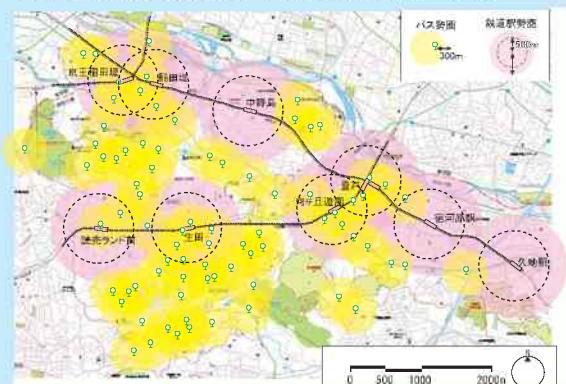
高齢化社会の到来への対応として、行政による施策や民間レベルでの取り組みなどが行われていますが、とりわけ地域交通の確立が必要と考えます。

地域交通が必要とされる多摩区の現状と課題について、次のようなことが挙げられます。

■高齢化社会の到来と将来への対応

- ・高齢者にとっては、若い時には歩いていけたバス停や駅が実際の距離より長く感じられるようになります。

多摩区の鉄道駅及びバス停の徒歩圏の状況



■駅へのアクセスの確保

- ・多摩区には、区内8カ所と区境に1カ所と比較的多いが、地域によっては、駅から離れており利用しにくい場所があります。このように駅から離れている地域については、駅までのアクセスが課題となります。

■バス路線と運行本数の確保

- ・多摩区内のバス路線は、区内を編み目のように整備されています。しかし、1日のバスの運行本数をみると、全体的に運行本数の少ないバス路線や、時間帯によってバスの本数に差がある場合があります。

多摩区の地形の現況



■地理的特性の対応

- ・丘陵部も住宅開発進んでおり、多くの住民が住んでいます。多摩区の地理的特性で狭い道路や坂道が多く、交通手段の確保が課題となっています。
- ・多摩区の地理的特性から高齢者のみならず、様々な人々（子育て世代、妊婦、病気の方など）に対するやさしいまちづくりが必要となっています。

高齢化社会への対応と多摩区の地域特性に適した交通バリアフリーすなわち地域交通の検討が必要であると考えます。買物に出たいときにすぐに出かけられるような生活のため、社会参加のために、高齢者が支障なく街に出ることはとても大切なことであり、高齢者の健康増進にもつながります。

また地域交通を考えるにあたっては、町会や自治会単位で検討するケースが多くあります。しかし、効果的で経済的な交通システムを考えると、今後は複数の町会や自治会などある程度広範囲な地域にまたがるルートを検討する可能性が出てくると考えられます。

(2) 提言

提言1. 住民の取組

地域交通を必要としている地域の住民は、川崎市の地域交通の指針に沿って、主体的に検討、運営を行っています。

多摩区の地域交通全体に着目して、丘陵地帯など地域交通の需要が見込まれる地域を検討し、現地視察や地域のコーディネートなど中間支援を行う団体の先行的な活動によって地域交通の現状を把握する。区内で活動中の交通システムを検討している団体を組織化し、コミュニティ交通の促進を図ります。

提言2. 行政の取組

地域交通を必要としている地域の住民について、川崎市の地域交通の指針に沿って、相談や補助など、積極的にサポートしていきます。

町会や自治会へ、地域交通の情報や事例を周知し、今後の高齢化社会へ向かって検討へつながるように活性化を図ります。

町会や自治会が、自分たちの区域だけでなく、他の区域をまたぐルートで検討している場合は、行政や多摩区のコミュニティ交通を検討する団体が仲介し、折衝に務めます。

第2期多摩区区民会議委員

氏名	団体名等	専門部会		
		企画	地域コミュニティ	環境・観光
ありさと いくこ 有北 郁子	多摩区こども総合支援連携会議	○	○	
いとう しょしたけ 伊藤 順健	多摩区町会連合会		○	
おののやら ももじゅ 小野寺 百壽	多摩区観光推進協議会	○		★
◎佐々木 梅吉	多摩川エコミュージアム	★		○
○杉下 稔郎	公募	○	★	
せきよしのり 関 喜範	セレサ川崎農業協同組合		○	
たちかわ もとあき 立川 元明	多摩区社会福祉協議会		○	
たむら せい一 田村 精一	多摩区商店街連合会			○
とよだ ひろし 豊田 博史	川崎市医師会多摩区医師会		○	
のむら みつぎ 野村 貢	登戸土地区画整理事業まちづくり推進協議会			○
はたまつお 秦 松雄	多摩区安全・安心まちづくり推進協議会		○	
はづな 初田 温子	公募	○		★
はらしまみちこ 原島 美智子	多摩区地域教育会議	○	○	
ひづのひろむ 日詰 弘	公募			○
○福嶋 加代美	多摩区文化協会	○		○
ほんだかずたか 本田 和隆	公募	○	○	
まちやまゆきや 町山 良行	公募	○	★	
まついまさこ 松井 正子	多摩区・3大学連携協議会		○	
みやはらきよじ 宮原 喜代治	多摩区安全・安心まちづくり推進協議会		○	
やまだてるこ 山田 輝子	公募	○		○

◎…委員長、○…副委員長、★…部会長、☆…副部会長

第2期多摩区区民会議検討経過

区民会議		
事前説明会	7月30日（水）	区民会議について 審議課題について
平成20年度第1回	8月28日（木）	委員長・副委員長の選任について 区民会議の運営について 審議課題について
ミーティング	9月13日（土）	審議課題の検討について 調整・運営部会の委員について
第2回	12月8日（月）	専門部会について 全体テーマの設定について
第3回	3月18日（水）	専門部会からの審議報告と意見交換について 中間報告書及びフォーラムの開催について
ミーティング	7月3日（金）	（板谷）菲子・F・不二雄ミュージアム基本計画（案）説明会 (複数企画監修者：F・不二雄ミュージアム監修準備室)
平成21年度第1回	7月17日（金）	専門部会からの審議報告と意見交換について
ミーティング	10月6日（火）	生田緑地の整備等に係る事業概要について（複合企画局 公園緑地まちづくり課監修室）
第2回	10月29日（木）	専門部会からの審議報告と意見交換について 前回会議で出した提言の経過報告について
区民会議フォーラム	11月29日（日）	中間報告書の掲示内容について区民と意見交換
ミーティング	2月2日（火）	掲示案の確認について 今後の日程について
第3回	2月26日（金）	第2期多摩区区民会議の運営について

地域コミュニティ部会		
平成20年度第1回	1月19日（月）	部会長の選任について 区民会議委員から出された地域課題について
第2回	2月16日（月）	副部会長の選任について 審議課題の検討について
ミーティング	4月15日（水）	地域コミュニティ部会の今後の進め方について
ミーティング	4月18日（土）	「道路整備」現地視察
平成21年度第1回	4月22日（水）	地域コミュニティ部会の今後の進め方について 「道路整備」現地視察(引きかえり)
ミーティング	6月5日（金）	審議課題「コミュニケーションづくり」について 審議課題「道路整備」について
第2回	7月3日（金）	審議課題「道路整備」について
第3回	7月30日（木）	審議課題「地域交通」について 審議課題「世代間交流」について
ミーティング	9月18日（金）	審議課題「地域交通」について 審議課題「世代間交流」について
ミーティング	10月9日（金）	審議課題「地域交通」について 審議課題「世代間交流」について 審議課題「道路整備」について
第4回	12月17日（木）	フォーラムの意見を受けて 提言の修正について
第5回	1月20日（水）	提言の調整について

環境・観光部会		
平成20年度第1回	1月20日（火）	部会長の選任について 多摩区の環境・観光に係る現状と行政の取組みについて
第2回	2月26日（木）	環境・観光部会における基盤強化について
ミーティング	4月16日（木）	（板谷）菲子・F・不二雄ミュージアムの整備について(複合企画局 公園緑地まちづくり課監修室) まちあらきによる現場説直
平成21年度第1回	5月29日（金）	蘇子・F・不二雄ミュージアムへのアクセスロード整備 について 今後の方向性について
ミーティング	7月3日（金）	蘇子・F・不二雄ミュージアムへのアクセスロード整備 についての説明(案)について 生田緑地整備計画について
ミーティング	8月4日（金）	蘇子・F・不二雄ミュージアムへのアクセスロード整備 についての説明(案)について
第2回	12月10日（木）	フォーラムの意見を受けて 提言の修正について

